

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	下條歌舞伎、一步前へ！プロジェクト パート3
事業主体 (連絡先)	下條村歌舞伎保存会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,482,448 円

事業内容

・義太夫三味線教室は日本でも屈指の技術を持つ竹本土佐恵氏を講師に迎えて開催をしている。義太夫および三味線両方指導可能なのは氏を置いて他にいない存在。年間3回1回2日間の研修を行った。実人員13名延べ250人が指導を受けた。

また毎月フォローアップ講座を行うなど技術の維持、向上に向けて研修生各自の意識も向上している。

11月23日の下條村文化の祭典では、三味線メドレーの発表および、下條村こども歌舞伎教室の演目「菅原伝授手習鑑 車曳の段」において太夫が初舞台を踏むことが出来た。

来場者数は300名

・三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会は、豊橋、浜松、湖西、大鹿、下條、設楽で現在実行委員会を構成している。各地域持ち回りで開催をしており、今回の大会は25回大会。各地域の保存会同士の交流を深める会でもあり、歌舞伎が一度に見ることのできるイベントである。

今回は6団体の参加により12月15日に下條村コスモホールで開催した。来場者数は約450人関係者は100人以上おり多くの方の交流を行うことが出来、歌舞伎に触れ合う機会を作ることが出来た。



【三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会
下條歌舞伎のメンバー】

【目標・ねらい】

- ①義太夫・三味線の後継者育成
- ②歌舞伎に関する意識の向上

事業効果

① 義太夫・三味線では研修生13名延べ250人が指導を受けることが出来た、次年度以降も継続して本格的に歌舞伎に関わってもらえる土壌が出来た。専門的な指導を受ける数少ないチャンスを作ることが出来た。今後は各自に1つつ演目を覚えてもらうように個別での指導を行う予定。先生がお元気なうちは指導を継続してお願いしたい。

②三遠南信ふるさと歌舞伎交流下條大会および下條歌舞伎定期公演においての発表により地芝居、地歌舞伎の魅力が伝えることが出来た。各団体との交流を通じての継承への思いの強まりを感じ、また定期的な公演の機会として毎年の参加を行いながら引き続き下條歌舞伎を残すことが出来るよう稽古を行っていきたい。

※自己評価【B】

【理由】

事業効果は新規参加者も出来、事業についても予定通り実施することが出来た。しかしながら、宣伝方法をもう少し工夫して、ロコミ、直接勧誘など様々な事を試してみることも重要だと感じました。

今後の取り組み

次年度以降も義太夫三味線の講座は継続し、下條歌舞伎定期公演での出演を通じて技術の向上を行い、様々な団体と交流をしながら村外での出演も行いたい。

この事業でつながった団体や指導者の方たちと交流を行い楽しみながら伝統芸能を継承していきたい。